

《学校評価シート（高等学校）》

①

評価領域

教育情報部

②	<b>重点目標</b>	・ 県立学校学習ネットワークシステムを適切に運用する。		P
③	<b>現 状</b>	・ 授業者により機器の習熟や利活用の度合いに差がある。		
④	<b>具体的な目標</b>	・ ギガスクール構想に応じたICTの利活用を推進する。		
⑤	<b>目標達成のための方策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット及び電子黒板の利用環境の整備</li> <li>・ 情報機器やGoogle Workspace for Education等の各種アプリに関する活用法の研修</li> <li>・ ガイドラインの周知</li> </ul>		
⑥	<b>具体的な取組状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒のタブレット持ち帰りに関する規程の作成</li> <li>・ タブレットを持ち帰る生徒への貸し出し用ACアダプター整備</li> <li>・ 電子黒板の起動・タブレットの接続方法等の動画による提示</li> <li>・ 「ICTを活用した授業、及び授業準備の方法について」の研修会を慣熟度別実施</li> <li>・ ICTの活用をテーマとした公開授業研究会の開催</li> </ul>		
⑦	<b>達成状況</b>	・ 依然、生徒、授業者ともに、個人個人に大きな差はみられるが、全体的には授業での活用度が増している。		
⑧	<b>自己評価</b>	(評価) A	(根拠) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ICTの効果的な活用」における各教科の評価で、「あてはまる」が一昨年度・昨年度に比し、倍増した。</li> <li>・ 研修会等でICTの実践的な活用技術を提示できた。</li> </ul>	C
			<p>↑ 評価基準</p> <p>A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた    B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない</p> <p>↓ C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない</p>	
⑨	<b>学校関係者評価と意見</b>	(評価) A	(意見) (概ね自己評価を肯定する意見。) 推進を一層期待する意見がある一方、ICTが教育現場を取り巻く状況に厳しく臨むよう促す意見もあった。	C
⑩	<b>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</b>	全体的な技量の「底上げ」に加え、目まぐるしく進歩するICTへの即応のために、平易で一般的な「初歩」から限定的でも即応可能な「実戦編」まで様々なものを織り交ぜつつ、より多くの研修の機会を提供する。また先進技術の実験的な利用にも意欲的に取り組む。		A